

皆さん、夏休みはいかがでしたか？勉強に部活に遊びに！（ほんのちょっぴり読書に…）

全力で取り組めたでしょうか。今回は、一学期終業式でもお話がありました“ビブリオバトル”について

ご紹介します。夏休み中に新着図書も仲間入りしていますよ、二学期も図書館でお待ちしています。



## ビブリオバトル(=書評合戦)って、知ってる？



ビブリオバトルとは…

参加者が好きな本を持ち寄って、本の魅力を他の参加者へ伝える、本の紹介コミュニケーションゲームです。

### ルール

- ① 紹介する本を選ぶ
- ② 各自5分程度で本の紹介をする
- ③ グループで3分程質疑応答
- ④ 全員の発表が終わったら投票
- ⑤ 最も票を集めた本がチャンプ本となる



決してプレゼン能力を競うものではなく、あくまでも

「どの本が一番読みたいか」を基準に、

“本”に投票し、チャンプ本を決定!!



## “人を通して本を知る、本を通して人を知る”

「本は好きだけど、話すのが苦手」…うんうん、よくわかります。私も大の苦手！！

だけど、プレゼン大会ではないから、上手に話す必要もなし◎

いろいろな本があるんだなあ、いろいろな人がいるんだなあ、それだけで充分！

少しでも興味のある方は図書館司書まで！



# 8月

# 新着図書

## 『踊りつかれて』

塩田武士著

スキャンダルを起こした芸能人をSNSで誹謗中傷し葬った面々が、逆に正体を暴露され社会的に追い詰められていく。



## 『17歳のときに知りたかった受験のこと、人生のこと』

ビーやま著

著者が偏差値37から一浪でどうやって早稲田に入ったかという話は興味深いです。



## 『僕たちの青春はちょっとだけ特別』

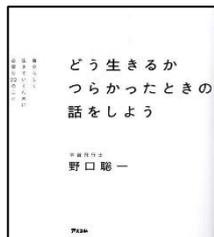
雨井湖音著

高等支援学校を舞台にした小さな謎を追う学園青春ミステリー。生徒たちの感情がとても細やかに描かれていてキラキラ輝いています。

## 『どう生きるかつらかったときの話をしよう』

野口聡一著

宇宙飛行士の著者は「世間の求める宇宙飛行士像」を演じていたという。メンタルが落ち、しかも回復に10年かかったそうです。そこからの気づきに感動！



## 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木俊貴著

鳥のシジュウカラが20以上の単語で文を作っていることを世界で初めて解明した動物学者のエッセイ。凄まじい忍耐力の結果でした。



## 『生成AIで世界はこう変わる』

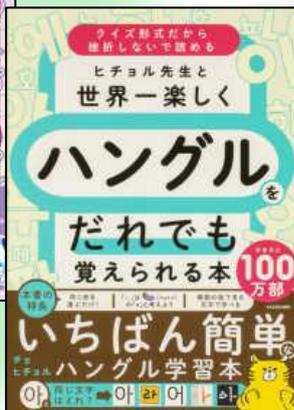
今井翔太著

わかっているようでちゃんとわかっていない生成AI。よくわからいと、置いてけぼりにされている感がある人にはおすすめです。



### —韓国語が— こんなにわかりやすい 本がはいりました！

### —ヨルダン— どんな国でしょう！



ヨルダンの国旗

